

ゆめ せせ はな & らぎ だより

社会福祉法人なごみ福祉会

2021 冬号

編集 ■ ゆめはな&せせらぎだより編集委員会

発行 ■ 夢花事業部事務局

川崎市多摩区長沢 4-2-9-402

TEL 044(742)2555

MAIL nagomi@carol.ocn.ne.jp



1: あゆ工房れぜるの限定販売クリスマスクッキーセット (夢花工房コラボセット)
2: あゆ工房れぜる外観。3: 夢花工房オーリーブのクリスマスオーナメントセット。
4: 夢花工房オーリーブ外観。

新しい体制の歩みについて

夢花事業部部長・せせらぎ事業部部長 梶山 則行

せせらぎ事業部 副部長 鈴木 智浩

コロナ禍の中で

新型コロナウイルス感染も漸く落ち着いてきた様子です。緊急事態宣言の期間中には、地域の医療機関(黒須内科、土屋医院、南生田クリニック、中野島診療所)の先生方に、利用者、職員共にワクチン接種等に変にお世話になりました。お陰様で今年度「夢花・せせらぎ事業部」として活動を始めてから、事業部全体の関係者で幾人かの感染はありましたが、重症化する事やクラスターが発生せずに済みました。協力いただいた皆さんに感謝しつつ、今後もインフルエンザの流行や第6波に対する警戒と対策を緩めず、利用者の健康と安全を守る為に、職員一同で尽力をして行きたいと思えます。



スポーツと創作活動について

開催について様々な意見があった事もあり、話題にされる事が少なかった気がしますが、「2020年東京パラリンピック」では、競技ごとに全力で活躍している仲間の姿に多くの感動を与えてもらいました。間違いなく、観戦した多くの方が、障害を持つ人への関心と理解を深める大会であったと思えます。スポーツ以外にも利用者の方が社会に参加し、年齢を重ねても充実した時間を過ごす方法として、絵画などの創作活動や音楽活動に、今まで以上に関心を持って取り組む必要を感じています。

原点を大切に

二つの事業部が一つになった事により、職員数も増え、事業部内のグループホームの入居者数も100人を超えるなど、事業範囲と組織としての責任が大きくなりました。課題はあっても、法人のパフレットに「なごみ福祉会は一人のお母さんの願いから始まりました。」とあるように、一人の人の願いに応えようとする姿勢を大切にきた法人の歩みを原点として行けば、乗り越えて行けると確信をしています。

夢花事業部とせせらぎ事業部が一つとなり半年が経過をしました。せせらぎ事業部の職員が夢花事業部の工房やホームの見学をすることで理解を深めました。せせらぎ事業部と夢花事業部の職員が今後は異動なども視野に入れていくことで、職員のスキルアップをしていける環境を作っていきたいと思っています。



この半年間で多摩川あゆ工房となごみグループホームの兼務や、なごみグループホームとれんげ草の兼務をするなど、新たな一歩を踏み出してきています。今までは兼務で業務することのなかったせせらぎ事業部ですが、兼務する職員が増えることによって、今後の異動などもスムーズに行えることや、各自が事業部内の事業を把握できます。兼務をすることは簡単ではないですが、職員一人一人が幅広い視野を持ち、幅広い視点で利用者のニーズを考え理解することが利用者の利益にもつながってきます。やみくもに広げていくことを目的としているのではなく、今いる利用者の方を一番考えていける支援者を増やしていけるようにしていきたいと思えます。利用者支援としては、今年度からスーパーバイザー研修を月に1回行っています。その中では利用者1名に焦点を当てて障害の理解を深め、実践に繋げる取り組みをしています。まだまだ始めたばかりですが、職員個々が真摯に向き合いながら今後も取り組んでいければと思っています。

せせらぎ浴線事業部は「せせらぎ事業部」と名称変更いたしました。
また、デザイナー勝山氏に制作頂いたロゴマークを使用します。
今後共どうぞよろしくお願い致します。



夢花工房

ミュージアム川崎で11/12(金)～21(日)に行われたカラース川崎に出展しました。個性があり、魅力的な作品ができましたので、展示された様子を写真で見せてみます。一生懸命制作する利用者を見て、多くの方に見ていただけることは大きなモチベーションになると感じました。これからも展覧会がある際はぜひお越し下さい。 横山



▲カラースかわさき展会場

ホーム

次年度に向け利用者皆さんが安心して快適に過ごせるよう、事業部として6棟目のスプリングラー完備とバリアフリー化した2階建ての2ユニット(10人定員)の建物を平成20年まで虹2として利用していた場所に建設中です。新しいグループホームは長沢地区にあるレジデンス星に居住している女子利用者が転居予定です。利用者の外的負担が軽減できる事を目指しています。 川端



▲新ホーム建設予定地

デイリー

夢花事業部では、職員の作業療法士(OT)から提案を受け、看護師と協同しながら日々の活動を拡充できるようにしています。これまで取り組んできた体操やレクリエーションに、安全に競い合える要素を加え、競争意識や楽しみを感じられるようにしたり、新しいメニューを増やすことで、興味を持って取り組めるようにしています。 岡



岡



川崎エリアとぴくす

▲楽しいハロウィンコスプレ

クッキーはレゼルが作ってくれました♪



ドリーム

秋のイベントとして、児童デイサービスドリームではハロウィンを行いました。仮装を準備、着替えからワクワクして、笑顔が絶えない子供たちに、スタッフもつられてウキウキしてしまいました。今回お菓子を配る協力をして下さった皆さん、ありがとうございました。コロナの対策・配慮助かりました。 釜山

オーリーブ

季節の変化を感じながら取り組める畑作業は、解放感や実りの喜びを感じられる貴重な機会です。今回は秋の味覚、サツマイモの収穫ができました。次回はほうれん草や、きぬさやが食べごろ、いや、収穫時期になっている頃と思います。食を通じて得られる季節感、大事にしたいですね。 安藤



安藤

職員間交流び報告

■交流報告 夢花事業部 若月さん

令和元年の1月1日から夢花事業部で仕事を始め、9月からせせらぎ事業部(あゆ工房)で仕事をする事になりました。ワクワクする気持ちでいっぱいのまま、出勤日を迎えました。利用者さんとの関わり・新しい作業、知らない・わからないことの多い日々。やってみて慣れていくという姿勢で、毎日知り合いが増えることにうれしさを感じています。

今回、あゆ工房での仕事をする事になったのは、私にとってプラスの出来事です。苦手なこともあります。なんとかかなるさ、という気持ちで、まだできないこと、できることを伝えてやっていきたいと思っています。



▲若月さん

■交流報告 夢花事業部 平田さん

せせらぎのグループホームの連絡会に参加しました。東日本大震災級の災害には、日頃から防災意識とパニックになっても思考と身体が自然に動くような訓練、演習の積み重ねが大切と考えています。避難訓練は防火防災意識向上を推進し基本知識を身につけています。この幾多の訓練を重ねて経験により対応力を身につけていかなければなりません。そう思うとまだまだ足りません。災害時の公助が一番混乱している時期を過ぎた頃やっとならぬかと。大切なのは自助・共助です。一人一人が他者のために動くことが出来るような訓練を共同で重ねていき備えたいと思います。



▲避難訓練の様子

お互いが異動した
千頭（左）
伊東（右）



あゆクリーンサービス からあゆ工房

2009年に多摩川あゆ工房に入職し、2011年4月から清掃班の立ち上げから関わらせてもらい、早10年が経ちました。2013年から分場だったので、久しぶりの多摩川あゆ工房の勤務となります。これまでの経験を活かしつつ、力を発揮していきますので、何卒よろしくお願い致します。 千頭

あゆクリーンサービスへ異動

今年の10月に多摩川あゆ工房からあゆクリーンサービスに異動をしました。元々あゆクリーンサービスで仕事をしていましたが、私が居た頃に比べ、利用者さんの作業レベルが高く、嬉しさと、長年あゆクリーンサービスで利用者支援をしていた千頭職員の妻さを感じています。利用者支援と清掃作業の両立は大変ですが、職員一丸となり頑張りたいと思います。 伊東

ヘルパーステーションいろはに

昨年からの新型コロナウイルスの影響で、利用者さんの外出の機会が大きく減ってしまいました。そのような状況下でも利用者さんが楽しめるように活動を工夫して支援を継続して行いました。幸い、緊急事態宣言が解除され一番気持ちの良い季節を肌で感じるできるようになり、久しぶりに外の空気をいっぱい吸って皆さん気持ちがよさそうです。引き続き感染予防に配慮しながら、活動を続けていきたいと思ひます。 高橋

■交流報告 せせらぎ事業部 三浦さん

ポパイ2階での行動障害の方への支援、あゆ工房でもパーティーで仕切るなどありますが、個室を用意したりしっかりした構造化がなされていることに感銘を受けました。単一化もされておらず利用者によってスケジュールを組んで行っていることなど参考になりました。またドリームで児童、デイリーで高齢の方を受け入れるなど一生を支えられるシステムが出来ていることが素晴らしいと感じました。ホームでも随所に個人に配慮しつつ管理が問題なく行えるよう工夫されていて、ホームを管理していく際の参考になる面が多く見受けられました。今後せせらぎ事業部として連携強化をしていく為今回行けなかったあじさいや、オーリーブなどにも行けたらなと思ひます。

■交流報告 せせらぎ事業部 中水さん

今まで夢花事業部について知る機会がなかったので、初めて

◎せせらぎ事業部

地域相談支援センターいろはにこんぺいとう

この10月より相談支援センターの体制が大きく変わりました。障害種別、年齢、福祉サービスの利用などに関わらない総合相談窓口として、地域の方々のご相談を受けられるよう、地区担当制が導入されました。いろはにこんぺいとうも中野島や菅地区等の担当となり、種々のご相談をお受けしています。これまでは知的障害や発達障害の方に関わる事が多かったこんぺいとうですが、他の障害の方や手帳をお持ちでない方、ご家族、支援機関等からの相談も多数寄せられ、悩むこと、教わることも多く所内でも共有しながらお受けしています。これまでご本人やご家族だけで抱えていた困りごとをご相談頂けたこと、つながれたことを大事に、一緒に考えさせて頂く姿勢で、向き合っていきたいと思ひています。 並木

なごみグループホーム

ホームは基本一人職場。そこで生じた課題を抱え込んでしまったり、また自身の思いだけで業務を進めてしまうことは無用の混乱を招く恐れもあります。人それぞれ個性はありますが、同じ方向で支援を展開できれば良いと思ひます。また今年度より夢花事業部と一つになったことで、お互いの情報共有や交流も今後進めていければと思ひます。情報共有の為、夢花事業部の管理者も参加したホーム会議を実施しました。 平林



▲合同ホーム会議

夢花・せせらぎ事業部では
職員間の交流を
進めています♪

の見学会はとても新鮮で実のある時間となりました。夢花工房ぽぱいの2階は、個室があったり、カーテンで間仕切りがされていたり、気分転換のためのウォーキングマシンが設置されていたりと、一人一人の特性に合わせて個人の空間を大切にしている環境整備がされていました。分場モンマルトルでは、利用者の高齢化に伴って体力健康維持のための活動として、作業療法士の方が体操を行っていたり、モニターや音楽を聴きながらエアロバイクをできる環境が整い、無理なく自分のペースで身体を動かせる等、あゆ工房にはない取り組みでしたので良い刺激になりました。環境整備の工夫もあゆ工房でも取り入れていきたいなと思ひえる見学会でした。



▲見学中の（左から）千頭さん 中水さん 三浦さん

事業部合同の 委員会制度が スタートしました

人事委員会 経理・会計委員会
 労務委員会 請求・行政対応委員会
 総務委員会 研修委員会
 防災委員会 虐待防止委員会
 衛生推進 (ハラスメント・ストレスケア)
 広報委員会 IT委員会
 法律・法令委員会



▲虐待防止委員会



▲防災委員会



▲衛生推進委員会

「主体的に横断的に」をモットーに夢花・せせらぎ事業部として委員会を設置し、各委員・担当が定期的に会議を行い、事業部の状況や課題を検討し、情報発信を行うようにしています。それぞれの活動が、段階的に職員間の信頼と繋がりを深め、事業部全体の課題の改善や方向性を決める事に役立つ事を期待しています。

お知らせ

せせらぎ事業部より

あゆまつりについて

延期していたあゆまつりですが、令和4年2月19日(土)に開催します。外部向けにはせず、内部向けでの開催として利用者さんにはご参加いただければと思います。内容はつばめの会による発表、ゲームコーナー、焼き菓子販売などを計画しています。その他にも参加される皆さんが楽しんでいただけるようなことを盛り込んでいきますので、お楽しみに。

夢花事業部より

夢花感謝祭は

アートワーク展として開催します

2022年2月11日に予定していた夢花感謝祭は、昨年同様にアートワーク展と名を変え、創作展として開催します。コロナ感染対策を徹底して開催しますが、皆様のご協力をお願いします。日々の活動の一端をこの場で感じていただけたら幸いです。



▲前回のアートワーク展



▲カラズかわさき出品

夢花カレンダーは今年の販売で最期になります

年末恒例のカレンダーは今期の販売をもって終了させていただきます。皆様には長らくご愛顧いただき、誠に有難うございました。今後の創作・芸術活動には、引き続き力を入れて行く予定です。

2022年カレンダーのお求めはホームページか、夢花工房ぽぱい(下記参照)までお問い合わせください。(限定100部)



▲2022 カレンダー

ホールや更衣室の壁を修繕

ホールや更衣室の壁を修繕しました。今後も気になる個所の修繕を定期的に行い、綺麗で見栄えよくしていきます。次の工事予定は軽作業室の棚を修繕します。



▲きれいになったホールの壁

軽作業室とリサイクル室の間に壁

軽作業室とリサイクル室の間に壁を入れる工事を行いました。今まではカーテン式でしたが、音も遮断できどちらの班にとっても快適な環境で作業に取り組めると思います。



▲軽作業室も使いやすい

スカラモービルを導入

スカラモービルを導入しました。スカラモービルは車イスを取り付けて、階段を昇降するための機械の名称です。これを導入したことで、療育相談でん虫の活動へ参加されている車イスの方など施設を安全に使っていただけるようになります。



▲スカラモービル

夢花工房
ぽぱい

〒214-0036 川崎市多摩区南生田 4-12-5
 TEL 044-976-6481 FAX 044-789-9511
 MAIL popai@marble.ocn.ne.jp

なごみ 夢花

検索

www.nagomi-yumehana.com



多摩川
あゆ工房

〒214-0012 川崎市多摩区中野島 4-3-28
 TEL 044-911-1315 FAX 044-911-0462
 MAIL ayu-kobo@giga.ocn.ne.jp

あゆ工房

検索

www.nagomi-fukushi.or.jp/ayu-kobo/

